

うどん小屋から食堂へ

初代うどん小屋は地蔵川沿い、2代目は生徒会室の東側にあった建物（昭和36～47年）、3代目は旧鳥城高校給食室で、昭和49年まで利用されました。

3代目うどん小屋は現在生徒会室として利用され、生徒会執行部が「うどん小屋」の看板を掲げています。なお、現在の食堂は、百周年記念館の2階にあります。

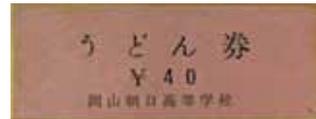


2代目うどん小屋風景

【当時のうどん券!】



35円（昭和45年）



40円（昭和46年）

昭和47年頃の再現うどん



（昭和47卒 小松原 貢画）

3限終了のサイレンと同時に先生より早く後ろのドアから走り出す男子たち。うどん小屋を目指して階段を駆け下りて行きます。

メニューはうどんのみなのですが、1杯30円という安さと、冬場などは熱々というだけでありがたい食事でした。値段は1年毎に5円上がり、3年生の時は40円になりました。上に乗っていたちくわの天ぶらが品切れになると、薄いかまぼこに変わるというシステムでした。明るく清潔な現在の食堂とは違い、少々うす暗いうどん小屋で、仲良しグループでうどんをすすりながら他愛のないお喋り、遠い昔の高校生活の懐かしい一場面です。（昭和47年卒 入江ひとみ）

現在の食堂

うどん以外にも日替わりを含む多彩なメニューがあります。現在の「特うどん」は冷凍麺を採用、ちくわ天がかき揚げとなったほか、かまぼこ、わかめ、ゆで卵、油揚げと、とても豪華です。もちろん、値段も上昇しています。



令和2年の特うどん



かき揚げの下には油揚げが隠れています

（写真 朝日高校提供）



～ Column vol.3～

コンビニエンスストアの軽食

平成20年卒 上村 真衣

学校の前にあったコンビニで、ちぎりパンやパスタサラダなどを朝行く時に買って、お昼休みに食べていました。白いちぎりパンはふわふわで、つぶつぶのチョコクリームがおいしかったです。

また、部活の帰り道にコンビニへ寄って夏はアイス、冬は肉まんを食べて帰っていた思い出があります。

